

ED-005

# 環境経営レポート

2019年度

(2018年12月～2019年11月)



佐竹特殊鋼株式会社

2020年3月4日発行

## 1. 組織の概要

### (1) 事業所の名称及び代表者

佐竹特殊鋼株式会社  
代表取締役 佐竹昌史

### (2) 所在地

本社  
東京都立川市一番町 4-65-32  
電話 042-531-8656

営業本部・物流センター・加工センター  
東京都武蔵村山市伊奈平 1-28-4  
電話 042-531-8681 FAX 042-531-8684

### (3) 事業内容

特殊鋼の素材販売・加工販売  
非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

### (4) 事業規模

創立 1973年3月30日  
法人設立 1974年11月30日  
資本金 1,200万円  
年商 600百万円  
従業員 16人 (パート・非常勤も含む)

## 2. 対象範囲

### (1) 認証・登録範囲

特殊鋼及び非鉄金属、新素材の素材販売・加工販売

### (2) レポート対象期間

2018年12月～2019年11月

### (3) 活動レポート発行日

2020年3月4日発行

### 3. 環境経営方針

#### 【基本理念】

佐竹特殊鋼株式会社は、素材販売、機械加工を行う会社として環境に配慮した会社をめざし日々努力していきます。

地球環境保全が、最重要課題の一つであると共に、かけがえの無い地球に住む一員であることを認識し、地球環境を考えた事業活動を全員参加で展開することを基本理念とします。

#### 【環境経営方針】

##### 1. SDGsの目標設定

- ゴール5 ジェンダー平等
- ゴール7 エネルギー
- ゴール8 雇用
- ゴール12 持続可能な生産・消費
- ゴール13 気候変動



2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を順守します。
4. クレーム削減を徹底します。
5. 3Sパトロールの実施と振り返り
6. 新人教育マニュアルの作成及び実施
7. 採用戦略の立案
8. 展示会への出展による新規顧客の開拓の推進

この品質環境経営方針は、社内外全ての方に周知をする為に、開示します。

制定 2015年2月2日  
改定 2019年1月11日  
佐竹特殊鋼株式会社  
代表取締役

佐竹 昌史

#### 4. 環境経営目標

No.	項目	基準年度実績 (前半期)	2021年度中期目標	2020年度目標	
1	売上高	2014年度 (50) 100 %	2014年度比 145 %以上	2014年度比 130 %以上	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2018年度 クレーム発生 19 件		クレーム発生 7件以下	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2018年度 不具合発生 物流センター 3 件 加工センター 3 件 外注 1 件		不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 外注 0件	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	2014年度 (39.3 t) 79.6 t		
		売上高比排出量	2014年度 (78.6t/100) 79.6t/100	2014年度比 85 % 67.7 t/100	2014年度比 90 % 70.7 t/100
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度 820 kg	2017年度比 121.4 % 996 kg	2017年度比 134.1 % 1100 kg
		一般廃棄物	2017年度 1,915 kg	2017年度比 110 % 2,109 kg	2017年度比 135.8 % 2,600 kg
6	紙使用量の削減	使用量	2014年度 (51,295枚) 106,161 枚		
		売上高比使用量	2014年度 (102,590枚) 106,161 枚/100	2014年度比 95 % 100,853 枚/100	2014年度比 80 % 84,929 枚/100
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に100%対応	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	
8	+O <sub>2</sub> マングローブ植林プロジェクト			フィリピン市にマングローブ苗木を植林する	

・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 5. 環境経営計画

No.	項目	基準年度実績 (前半期)	2020年度目標	2020年度 活動計画	
1	売上高	2014年度 (50) 100 %	2014年度比 130 %以上	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓。展示会への出展をし、新規開拓をする。	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	2018年度 クレーム発生 19 件	クレーム発生 7件以下	新入社員が多い為、以前の是正処置票の確認を各月のそれぞれの課の会議で行う。	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	2018年度 不具合発生 物流センター 3 件 加工センター 3 件 外注 1 件	不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 外注 0件	毎月の課の会議の中で、是正処置の対策をし、周知徹底させ、同じ間違いの撲滅を目指す。	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	2014年度 (39.3 t) 79.6 t	2014年度比 90 % 70.7 t/100	売り上げ原単位15%減
		売上高比排出量	2014年度 (78.6t/100) 79.6t/100		
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度 820 kg	2017年度比 134.1 % 1100 kg	新工場併設の効果を出す。木製パレットの共同使用 リサイクル分別の徹底及び購入の過剰梱包に対して、適性梱包の依頼の実施
		一般廃棄物	2017年度 1,915 kg	2017年度比 135.8 % 2,600 kg	
6	紙使用量の削減	使用量	2014年度 (51,295枚) 106,161 枚	2014年度比 80 % 84,929 枚/100	加工センター新設した為、FAX枚数は0になる。
		売上高比使用量	2014年度 (102,590枚) 106,161 枚/100		
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に100%対応	顧客要求に 100%対応	・顧客からの要求があった場合、対応する。	
8	+O <sub>2</sub> マングローブ 植林プロジェクト		フィリピン市にマングローブ 苗木を植林する		

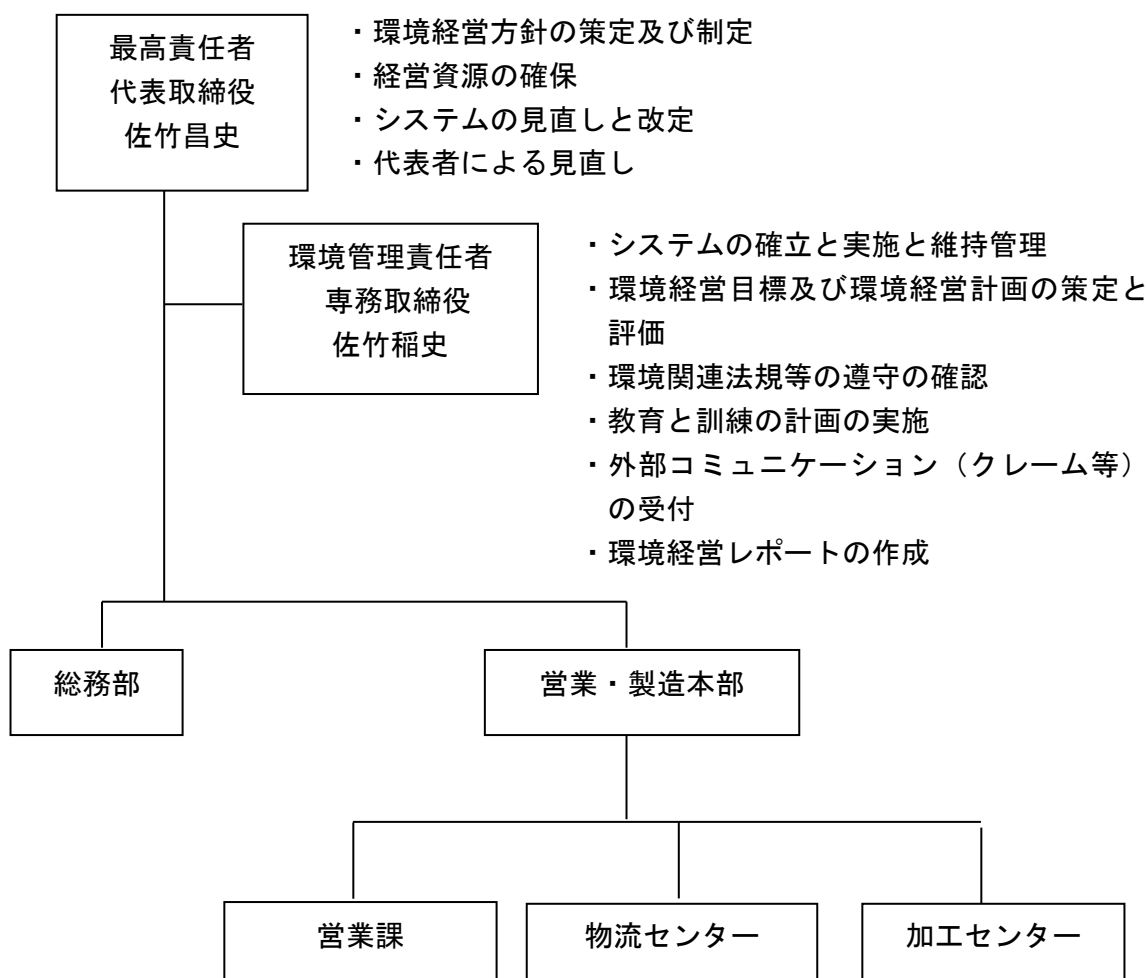
・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## SDGs への活動計画

No.	項 目	SDGsゴール	2020年度 活動計画
1	ゴール5 	ジェンダー平等 女性が働きやすい職場 環境の整備 女性雇用の促進	加工センター内に、女性更衣室、食堂、トイレを 整備する。  加工センターに女性社員入社させる
2	ゴール7 	エネルギー 省エネ等のエネルギー 効率の改善	エコアクション21による、環境目標を設定し、省エネルギー の為の具体策をたて、実施(KD-006)
3	ゴール8 	雇用 雇用拡大と教育訓練の 拡充 働きがいのある人間ら しい仕事の推進	都立産業能力開発センターより、製造における基礎のセミ ナーを実施 ヤマザキマザックへの加工プログラム研修 新人教育研修への参加（金融機関） ISOにおける個別の能力評価に伴い、1年間の具 体的な教育内容作成及び実施
4	ゴール12 	持続可能な生産・消費 品質向上によるムダ、 廃棄物の削減	是正処置票の是正内容について、各部署の会議の 中で、深掘りし、責任者主導のもと、是正内容を 課全体で周知する事
5	ゴール13 	気候変動 エネルギー消費削減に よる二酸化炭素排出量 の削減	加工センター内の照明をLEDにする アイドリングストップの実施 営業所事務所内のエアコンを省エネタイプにする マングローブ植林事業への協力

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

### ● Eco Action 組織図



### ● 取組内容

#### ・ 売上高について

2014 年度対比 130%以上の目標を掲げ、進めたが、結果は 105.6%と目標に対して大幅に未達となった。前期は、半導体業界の好調により売り上げを大幅に上げることが出来たが、今期は振るわず、低調だった為、それが数字に大きく影響した。加工センターの新設に伴い、工作機械の増設も含め、高付加価値な加工品の取り込みを重点に置き、展示会への出展による新規顧客獲得を目標に取り組む。

#### ・ 顧客クレーム削減による環境負荷の低減について

設定した目標が、7 件の目標を進めたが、8 件となった。ヒューマンエラーを含め、同じ間違いが起っており、各部署の会議の中で周知徹底をする事で是正処置内容の共有化をする事。

#### ・ 社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減について

目標を、2018 年度実績 物流センター 4 件 加工センター 6 件で、2019 年度は実績通



りて設定したが、結果は、物流センター3件 加工センターは14件と物流センターは目標をクリアしたが、加工センターはヒューマンエラーを含め、技術レベルの低さが目立った。加工センター会議の中では是正処置内容の共有化と、徹底、外部からの指導を受ける事で、来期の不良率軽減を目指す。

・紙使用量について

2014年度売り上げ原単位80% 84,929枚で目標設定したが、売り上げの減少により最終的には、79.3%とクリアしたが、来期は売上増による目標値のクリアを目指す。

・産業廃棄物排出量について

2017年度対比134.1% 1100Kgを目標にしましたが、実績1678Kgとなり、152.5%の大幅アップとなりました。要因は、工場新設の引っ越しの際に本社工場から出る産業廃棄物の量の予想が間違っており、今回の大幅な増になった。来期は減小する。

・二酸化炭素排出量について

売り上げ原単位で117.2%と大幅アップになった。加工センター新設に伴う工作機械の増設による増と、売り上げが減少している為の2つの要因による。

## 7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

### (1) 環境経営活動計画の取組結果とその評価

No.	項目	2019年度 活動計画	2019年度 前半期 (5月末)		2019年度 年間 (11月末)	
			結果	評価	結果	評価
1	売上高	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓	100.0%	米中貿易摩擦の影響を大きく受けて、製造業の生産が大幅にダウンした為	105.6%	12月より、来年に半導体業界の立ち上がりの話が出てきたが、製造業の不振が影響した。
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減	ユーザークレームからの是正処置票の深掘の徹底し、即時対応する。新規のサプライヤーの検討	3件	ヒューマンエラーが2件、是正処置票による徹底する事	8件	同じ間違いがあり、再度ルールを徹底する事。今後については、各部署の会議で徹底する事。
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減	是正処置票での対応策の徹底、サプライヤーへの教育。	1件 7件 0件	加工センターの経験値が足りない為の間違いが多発した。物流センターについては目標達成。	3件 14件 1件	加工センターの技術レベルが足りない為、ヒューマンエラーが多発した。物流センターについては、目標をクリアした。
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量	45.47 t		98.50 t	加工センターへの設備を増やしたが、売り上げが上がらない為、二酸化炭素排出量が大幅に増えた
		売上高比排出量	90.9 t/100 115.6%	売り上げが2014年とほぼ同等の為、原単位での計算では、大幅に増えた。	93.3 t/100 117.2%	売り上げが2014年とほぼ同等の為、原単位での計算では、大幅に増えた。
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	1,570 kg	新工場併設の効果を出す。木製パレットの共同使用	1,678 kg	予算対比142.7%増。本社工場から引越す際に、廃棄する物が増えた為。
		一般廃棄物	975 kg	リサイクル分別の徹底及び購入の過剰梱包に対して、適性梱包の依頼の実施	1,940 kg	予算対比75%目標クリア
6	紙使用量の削減	使用量	44,465 枚	加工センター新設による準備のための書類があり、売り上げ自体は低迷していたが増加した。	88,866 枚	昨年と比べ、大幅に減ったが、原単位での計算では、目標に対して、大幅アップとなった。
		売上高比使用量	88,930.0 枚/100 86.7%		84,153.4 枚/100 79.3%	
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	・顧客からの要求があった場合、対応する。		特に要求無し		特に要求無し
8	+O <sub>2</sub> マングローブ 植林プロジェクト			マングローブ累計570本植林達成		マングローブ累計700本植林達成

## (2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

No.	項目	2021年度中期目標	2020年度目標	2020年度 活動計画	
1	売上高	2014年度比 145 %以上	2014年度比 130 %以上	新規工場設立に伴い、深耕営業の推進及び新規開拓。展示会への出展をし、新規開拓をする。	
2	顧客クレーム削減による環境負荷の低減		クレーム発生 7件以下	新入社員が多い為、以前の是正処置票の確認を各月のそれぞれの課の会議で行う。	
3	社内検査不具合発生削減による環境負荷の低減		不具合発生 物流センター 4件以下 加工センター 10件以下 外注 0件	毎月の課の会議の中で、是正処置の対策をし、周知徹底させ、同じ間違いの撲滅を目指す。	
4	二酸化炭素排出量の削減	排出量			
		売上高比排出量	2014年度比 85 % 67.7 t/100	2014年度比 90 % 70.7 t/100	売り上げ原単位15%減
5	廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	2017年度比 121.4 % 996 kg	2017年度比 134.1 % 1100 kg	新工場併設の効果を出す。木製パレットの共同使用
		一般廃棄物	2017年度比 110 % 2,109 kg	2017年度比 135.8 % 2,600 kg	リサイクル分別の徹底及び購入の過剰梱包に対して、適性梱包の依頼の実施
6	紙使用量の削減	使用量			
		売上高比使用量	2014年度比 95 % 100,853 枚/100	2014年度比 80 % 84,929 枚/100	加工センター新設した為、FAX枚数は0になる。
7	製品の環境性能の向上 (RoHS指令への対応)	顧客要求に 100%対応	顧客要求に 100%対応	・顧客からの要求があった場合、対応する。	
8	+O <sub>2</sub> マングローブ* 植林プロジェクト		フィリピン市にマングローブ* 苗木を植林する		

・電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2014年東京電力の調整後排出係数0.496kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

## 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟などの有無

- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 騒音規制法
- 振動規制法
- フロン排出抑制法
- 廃棄物処理法
- 労働安全衛生法
- 消防法
- 都民と健康と安全を確保する環境に関する条例

上記法規等について、2019年12月に遵守状況の評価を実施し、特に問題のないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生していません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2019年度の目的目標達成状況については、2月に確認した。2020年度の電力、ガソリン、軽油、紙の使用量については、売り上げ増加を見越して、数値目標の設定をする事。

加工センターに人員の増員、工作機械の増設を踏まえ、電力使用量のUPを考え、また、環境の変化を予想しながら、数値目標を立てる事。

SDGsの目標に対して、今期、具体的な施策を打ち出しているのので、周知徹底及び、全員で目標達成の事。

(2020.2月8日)

- ・次期環境経営レポートは、2021年3月発行予定。